

「日本ダムアワード2015」にて鬼怒川4ダムが大賞を受賞

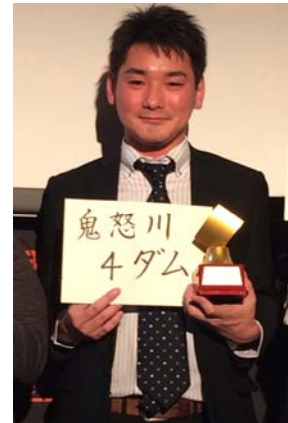
「日本ダムアワード2015」が東京カルチャーカルチャー(お台場)にて12月26日(土)開催され、『鬼怒川4ダム』がダム大賞を受賞しました。



会場の様子



各部門の受賞



「鬼怒川4ダム」プレゼンター 星野氏

■ダム大賞 | 鬼怒川4ダム



□放流賞 | 湯田ダム | ノミネート(全8ダム)

下久保ダム(群馬県/埼玉県)、川治ダム(栃木県)、川俣ダム(栃木県)、湯田ダム(岩手県)、真名川ダム(福井県)、内海ダム(香川県)、切目川ダム(和歌山県)、黒又ダム(新潟県)
 ※川治ダム、川俣ダムではクレストゲートからの点検放流時に見学会を実施しました。

□イベント賞 | セケ宿ダム | ノミネート(全4イベント)

矢木沢ダム・奈良俣ダム冬季見学会(群馬県)、三浦ダム・王滝川ダム見学ツアー(長野県)、セケ宿ダム特別見学会(宮城県)、十勝ダム30周年記念行事(北海道)

□低水管理賞 | 目屋ダム | ノミネート(全6ダム)

目屋ダム(青森県)、釜房ダム(宮城県)、鳴子ダム(宮城県)、白川ダム(山形県)、胆沢ダム(岩手県)、草木ダム(群馬県)

□洪水調節賞 | 七川ダム | ノミネート(全4ダム)

七川ダム(和歌山県)、鬼怒川4ダム(五十里ダム・川治ダム・川俣ダム・湯西川ダム)(栃木県)、池原ダム(奈良県)、釜房ダム(宮城県)

□プレゼンター

萩原雅紀氏(ダムライター、デイリーポータルZ・HP「ダムサイト」管理人)
 琉氏(ダム王子・HP「DamJapan」管理人)
 星野夕陽氏(HP「ちよいとダムに行ってくる」管理人)
 夕顔氏(HP「夕顔の日常」管理人)
 夜雀氏(HP「雀の社会科見学帖」管理人)
 NOW2000氏(HP「おぼえがき」管理人)

ダムアワードとは(日本ダムアワードHPより)

洪水の調節 や生活用水の確保、発電など、われわれの生活に欠かすことのできないダム。しかし、ダムが洪水や渇水の被害を低減させた、というような活躍がマスコミ等で報道されたことは極めて少ない。そこで、一般のダムファンがダムのさまざまな活躍を表に出して讃えることによって、ダム業界とダムファンの方々の活性化に寄与すると同時に、広く一般にダムの役割や効果をわかりやすく周知させることを目的とする。



平成27年9月関東・東北豪雨

鬼怒川上流4ダムにより洪水被害を軽減 ～約1億立方メートルを貯める～



湯西川ダム



五十里ダム

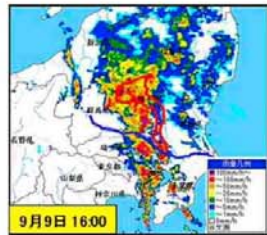


川俣ダム

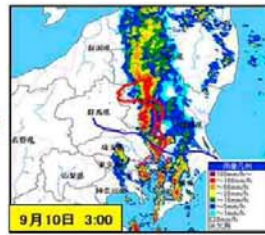


川治ダム

台風17, 18号に伴う線状降水帯によって、鬼怒川上流部では累計600mmを超える大雨を記録



9月9日 16:00



9月10日 3:00

雨域がほとんど変わっていない



鬼怒川上流ダム群 (栃木県日光市)

鬼怒川上流の4つのダムでは、できる限り洪水を貯める操作を行い、約1億m³の水を貯め込みました。



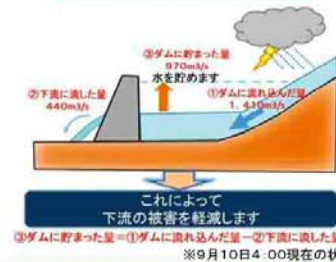
約2.1m(7階建てのビルに相当)

川俣水位上昇量は、6月9日(津田川ダムで水が貯められる)水位上昇と同程度です。



ほぼ満水の川治ダム

五十里ダムの場合



※9月10日4:00現在の状況

4つのダムによって、鬼怒川下流の水位を低下させ、鬼怒川下流左岸の氾濫水量2/3、浸水深3m以上の浸水面積1/3、浸水戸数1/2に減少させています。



※シミュレーション結果に基づいています。



鬼怒川上流域では、観測史上最多の降雨を記録しましたが、鬼怒川4ダムの洪水調節により、栃木県内においても鬼怒川の水位上昇が抑えられ、被害が軽減されたと思います。これからも、洪水調節による被害の軽減や、水道用水などの水源として、ダムの役割を果たしていただきたいと思っています。

【栃木県 福田知事談】